答、髙山（本部）

「資本主義の崩壊と共に、社会民主々義も亦崩壊するものであると云ふ認識は持つて居ない」。

質、石井（神戸）

「国際労働会議は我々に対し、何等益あるものでない為め否認せるが、労働組合本部は否定的に反対しない事は、戦線統一の美名に隠れて、我々を責付けたものである」

答、髙山（本部）

「国際労働会議は利用出来るだけ利用する事になつて居るので、否定的に之れは問題になつて居ない。組合本部問題に就て、責済したと云ふ各方面の言動より致しては、答弁の要なし」。

質、西村（大阪）

「労働組合本部の目的は全国的戦線統一であるにもかゝわらず、実際に於ては、総評会対全国労働の対立、或は総同盟が某官憲と協力して、某争議を妨害したが如き事実は、明かに労働組合本部が何等役に立たぬことの実証ではないか」。

答、髙山（本部）

「神戸、大阪に於ける、対鮮労会選挙に就ての対立問題は、組合関係と云ふよりも、大衆党本部の

財団法人 協調会